

事業概要 【救急医療情報共有システム導入事業】

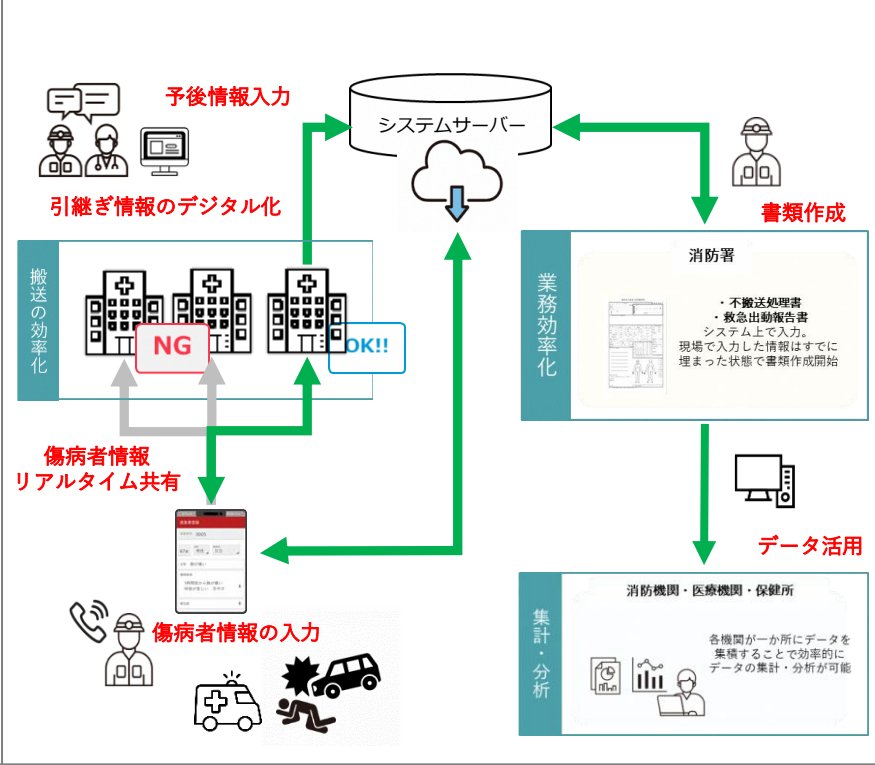
自治体名	山形県天童市	人口	60,279人	事業費	20,120千円
------	--------	----	---------	-----	----------

事業概要

市民からの救急要請があつてから病院収容までに時間を要する「救急搬送困難事案」については、以前からの課題であり新型コロナウイルス感染症の流行以降、事案は急増している。また、救急業務にはアナログな情報伝達が多く残存している。そこで救急業務にICTを導入し、救急隊の現場活動の効率化を図ることで、「現場滞在時間の短縮」「傷病者に適した医療機関への早期搬送と早期治療開始」を目指すものである。

【救急医療情報共有システム】

- 傷病者情報をデジタルデータで管理することで、救急隊が行う現場活動が効率的になり、現場滞在時間の短縮を図る。
- システムの情報収集支援機能を使うことで、救急活動の質の向上を図る。
- 医療機関と傷病者情報をクラウドでリアルタイムに共有することで、傷病者の早期治療開始を図る。
- 山形連携中枢都市圏での広域運用とすることで、地域間の課題解決を図る。
- クラウドで管理した情報を使うことによる、報告書等作成業務の簡略化。
- 救急事案検証体制のデジタル化（病院への引継ぎ情報のデジタル化。）。



主な KPI

【アウトプット指標（活動指標）】

- ①システムを使用し医療機関に搬送した傷病者数
- ②救急活動に係る時間

【アウトカム指標（成果指標）】

- ①現場滞在時間の短縮
- ②受入照会に掛かる件数の削減